



水産タイムス

THE SUISAN TIMES



発行所 株式会社 水産タイムズ社
編集発行人 越川宏昭
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6
TEL 03(3456)1411 FAX 03(3456)1416
ホームページ http://www.suisantimes.co.jp/
e-mail suisan@suisantimes.co.jp
日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)
購読料 1ヵ月 4,800円 6ヵ月 28,800円(税別)

2017年(平成29年)
5月23日(火) 12571号

全水卸総会、魚の安定供給を改めて確認

会長代行に岩瀬氏、副会長に三輪氏

全国水産卸協会(全水卸)は平成29年度第2回理事会、第45回定時総会を22日、東京・港区の浜松町東京會館で開き、平成28年度の事業報告を行った。近畿ブロックの役員交代に伴い真部誠司副会長(大水社長)が退任、三輪光幸うおいち社長が新たに副会長に就いた。また、横浜丸魚会長の岩瀬一雄副会長が会長代行を兼務することになった。

伊藤裕康会長は「卸売市場の見直しが、国において進められているが、市場での主要な役割を果たす卸売業者として、自らの立ち位置を見極めつつ、積極的に議論に参加していかなくてはならない」と述べた。

また、市場を取り巻く環境にも触れ「築地の移転問題は、都知事が代わった途端に一転して延期となり、先が見えないような、もどかしい状況。また、魚の供給も減り、このままでは市場が成り立たないといった不安の声も聞かれる。売れる魚だから市場で集めて売るといった単純な形は済まなくなっている。海の資源管理に

直結するマリン・エコラベル・ジャパン(MELジャパン)も国際化へ向けて本格的にスタートしたが、国民に対し、合理的、安定的に、安



難局打開へ結束を呼びかける伊藤会長

心安全な水産物を供給する者として、より幅広い観点からの検討が必要」と強調した。

懇親会では農林水産省の丸山雅章大臣官房審議官、大日本水産会の白須敏朗会長、JF全漁連の長屋信博専務らが挨拶した。

クロマグロ養殖協が水産庁に要望	
輸出拡大へ官民一体で売り込みを……………	2
横浜丸魚、減収もグループ再編で増益……………	2
林兼産業、減収ながら3億円増益	
水産は増収増益、機能性食品伸びる……………	2
スギヨ、「カニカマ」記念写真募集中……………	3
なとり前3月期、原料高騰で増収も減益……………	3
上海のシアル・チャイナ2017盛況……………	4

NPAFC、協調を確認…………… 4

業界人物スポット

(株)うおいち

代表取締役社長 みわ三輪 みつゆき光幸氏